

公共交通（路線バス）調査

8月6日（月）、公共交通（路線バス）が町民の方々などにどのくらい利用されているか？総務教育厚生常任委員会メンバー（6名）と議会事務局長といっしょにバスに乗り、乗降調査を行いました。

（一）西武観光バス三沢線

○9..10 皆野駅前発 ↓
（14名の利用）西武秩父駅着
皆野駅前から上三沢までの区間乗降者は一人もいませんでした。
○10..32 西武秩父発 ↓
（6名の利用）皆野駅前着

*時間帯などで多少利用人数は違つてきますが、この間の往復のバスで皆野町民の利用は3名だけでした。

又、西武観光バス（株）が行つたH22・12・10の総輸送人員調査

では、1日の利用者は

全体で65人内皆野町内19人

（二）町営バス（日野沢線）

○12..25 皆野駅前発 ↓
（5名利用）終点西立沢着
○13..05 西立沢発 ↓
（1名利用）皆野駅前着

（三）町営バス（金沢線）

○14..15 皆野駅前発 ↓
（0名）終点浦山着
○14..55 浦山発 ↓
（1名利用）皆野駅前着



夏休み期間中で、学生の利用が一名だけでした。

西武観光バスに対して、皆野町は年間740万円の補助金を支払っています。（秩父市も）

一日を通じて、公共交通が利用されていない実態がよくわかりました。

私は、六月議会の一般質問でバスが通っていない地域や、車に乗れない人の交通手段の確保、又、公共交通のあり方について、町は受け身の姿勢ではなく、町民との懇談会を開いたり、アンケートをとったりして早急に対策をとる必要があると主張しました。

今後も、他地域で行われている公共交通などを学びながら、この問題にとりくんでいきたいと思つます。

町会議員 常山 知子

第44回秩父音頭まつり

朝方からの雨も上がり、花火の打ち上げが終わった頃、雨が降り出すなど天気にも恵まれ音頭まつりは、大勢の人の参加でにぎわいました。

子供や孫、同僚や友人の踊りをカメラに収める大勢の人。流し踊りコンクールには、七七チームが参加しました。

秩父音頭は、和服があう優雅な踊りです。もつと和服にこだわつても・・・。



和服で踊る皆野中学女子生徒
